



## 2021年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アールエイジ  
 コード番号 3248 URL <http://www.early-age.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向井山 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松原 愛 TEL 03-5575-5590  
 定時株主総会開催予定日 2022年1月26日 配当支払開始予定日 2022年1月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年1月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年10月期の連結業績（2020年11月1日～2021年10月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	3,341	△6.3	451	△13.5	382	△16.1	258	△14.5
2020年10月期	3,566	1.9	521	△7.4	455	△9.4	302	△9.9

(注) 包括利益 2021年10月期 259百万円 (△14.2%) 2020年10月期 302百万円 (△9.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年10月期	81.28	—	7.1	3.0	13.5
2020年10月期	95.11	—	8.7	3.8	14.6

(参考) 持分法投資損益 2021年10月期 ー百万円 2020年10月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	13,423	3,735	27.8	1,174.26
2020年10月期	12,391	3,564	28.8	1,120.58

(参考) 自己資本 2021年10月期 3,735百万円 2020年10月期 3,564百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年10月期	375	△1,408	806	1,027
2020年10月期	795	△1,425	439	1,254

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年10月期	—	14.00	—	14.00	28.00	89	29.4	2.6
2021年10月期	—	14.00	—	14.00	28.00	89	34.4	2.4
2022年10月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00		32.4	

### 3. 2022年10月期の連結業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,470	3.8	500	10.8	420	9.9	275	6.4	86.46

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2021年10月期	3,181,000株	2020年10月期	3,181,000株
2021年10月期	186株	2020年10月期	186株
2021年10月期	3,180,814株	2020年10月期	3,180,850株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年10月期の個別業績（2020年11月1日～2021年10月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	3,113	△6.3	421	△12.4	381	△14.2	266	△12.4
2020年10月期	3,324	5.6	481	△8.8	444	△10.4	304	△10.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期	83.92	—
2020年10月期	95.78	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	13,325	3,671	27.6	1,154.23
2020年10月期	12,271	3,492	28.5	1,097.90

(参考) 自己資本 2021年10月期 3,671百万円 2020年10月期 3,492百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況で推移しました。直近では、ワクチン接種の普及拡大や感染者数の減少傾向が見られ、経済回復への期待感が高まっておりますが、変異株の拡大可能性等、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、オフィス市況は軟調な状態が続く一方、賃貸住宅の賃料水準にはほぼ影響も見られず、堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループは賃貸住宅等の運営管理事業で安定収益を確保しつつ、都心部にフォーカスした優良物件の企画開発に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績として、売上高は3,341,879千円(前年同期:3,566,162千円、前年同期比:6.3%減)、営業利益は451,298千円(前年同期:521,721千円、前年同期比:13.5%減)、経常利益は382,114千円(前年同期:455,647千円、前年同期比:16.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は258,522千円(前年同期:302,531千円、前年同期比:14.5%減)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### <運営管理事業>

当セグメントにおきましては、賃貸住宅等の社有及びサブリース物件の運営、管理受託物件のサービス提供にあたり、品質の向上を主眼にグループ一丸となり取り組んでまいりました。この結果、運営管理事業の売上高は2,849,981千円(前年同期:2,898,040千円、前年同期比:1.7%減)、セグメント利益は536,585千円(前年同期:555,971千円、前年同期比:3.5%減)となりました。

#### <開発販売事業>

当セグメントにおきましては、賃貸事業用マンション1棟(15室)他を販売致しました。この結果、開発販売事業の売上高は491,898千円(前年同期:671,759千円、前年同期比:26.8%減)、セグメント利益は69,800千円(前年同期:108,041千円、前年同期比:35.4%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当社グループにおける財政状態の分析は以下のとおりであります。

なお、文中における将来に関する事項については、本資料提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### 資産、負債及び純資産の分析

##### (資産の状況)

当連結会計年度末における総資産は13,423,658千円となり、前連結会計年度末に比べ1,032,519千円増加しました。これは主として、新たに開発用地を取得したこと等により土地の増加633,275千円、プロジェクト完成振替等による建物及び構築物の増加646,667千円であります。

##### (負債の状況)

当連結会計年度末における負債合計は9,688,543千円となり、前連結会計年度末に比べ861,755千円増加しました。これは主として、借入金の増加895,200千円であります。

##### (純資産の状況)

当連結会計年度末における純資産は3,735,114千円となり、前連結会計年度末に比べ170,763千円増加しました。これは主として、利益剰余金の増加169,459千円であります。これらの結果、自己資本比率は27.8%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末から227,022千円減少し、1,027,605千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と変動の要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、1年間で増加した資金は375,171千円(前年同期では795,499千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益382,114千円及び減価償却費185,550千円により資金が増加した一方、法人税等の支払により173,469千円資金が減少したこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、1年間で減少した資金は1,408,468千円(前年同期では1,425,935千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,312,750千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、1年間で増加した資金は806,275千円(前年同期では439,837千円の増加)となりました。これは短期借入金の純増減額が323,000千円及び、長期借入れによる収入により1,341,200千円資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出768,999千円及び配当金の支払額88,925千円があったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

2022年10月期の経済情勢も、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明な状況が続くと予想されます。

不動産業界におきましては、金融緩和の継続を背景として、底堅く推移することが期待されますが、雇用環境の悪化、店舗や事務所などの空室増加、テレワークの普及やeコマースの利用拡大により消費行動が変化するなど構造変化が起きる可能性もあり留意が必要です。

このような状況の下、当社グループは運営管理事業における保有物件とサブリースの安定した賃料収入を収益の基盤とし、引き続き都心部において競争力の高い賃貸物件の企画開発に注力し保有物件を増加させてまいります。

以上により、次期の連結業績は、売上高3,470百万円(当期比3.8%増)、営業利益500百万円(同10.8%増)、経常利益420百万円(同9.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益275百万円(同6.4%増)を見込んでおります。

※上記の予想は、本資料の発表時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主様への利益還元を経営の重要な課題と位置付けており、中長期的な事業計画に基づき企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保の充実を図るとともに、業績に応じた安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当社の剰余金の配当の回数は、当社定款に基づき、中間配当及び期末配当の年2回を基本としており、配当の決定機関は、中間配当は取締役会、期末配当は株主総会であります。

2021年10月期につきましては、上記方針のもと、中間配当にて1株当たり14円00銭(実施済)、期末配当にて1株当たり14円00銭とすることを予定しております。

2022年10月期の配当につきましては、通期にて1株当たり28円(1株当たり中間配当:14円00銭、1株当たり期末配当:14円00銭)とさせていただく予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,254,628	1,027,605
営業未収入金	41,738	32,904
たな卸資産	4,150,414	4,116,583
その他	19,831	24,169
貸倒引当金	△718	△522
流動資産合計	5,465,894	5,200,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,276,281	4,007,964
減価償却累計額	△382,439	△467,455
建物及び構築物 (純額)	2,893,841	3,540,508
車両運搬具	45,004	45,004
減価償却累計額	△34,917	△38,627
車両運搬具 (純額)	10,087	6,377
工具、器具及び備品	127,141	126,791
減価償却累計額	△113,709	△117,876
工具、器具及び備品 (純額)	13,431	8,914
土地	3,455,679	4,088,955
建設仮勘定	222,367	169,834
有形固定資産合計	6,595,407	7,814,590
無形固定資産		
ソフトウェア	10,990	9,955
その他	3,202	3,202
無形固定資産合計	14,193	13,157
投資その他の資産		
投資有価証券	7,496	9,626
繰延税金資産	79,267	90,187
敷金	55,486	55,030
差入保証金	55,819	54,308
その他	117,574	186,016
投資その他の資産合計	315,643	395,169
固定資産合計	6,925,244	8,222,917
資産合計	12,391,138	13,423,658

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	38,861	33,134
短期借入金	289,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	669,402	440,359
未払費用	54,063	60,032
未払法人税等	90,605	51,816
未払消費税等	21,345	16,837
賞与引当金	4,530	3,738
前受金	38,777	57,567
営業預り金	66,729	57,044
その他	4,094	6,863
流動負債合計	1,277,410	877,393
固定負債		
長期借入金	7,167,631	8,430,875
預り敷金	95,235	85,589
預り保証金	286,510	294,686
固定負債合計	7,549,377	8,811,150
負債合計	8,826,788	9,688,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	167,208	167,208
資本剰余金	66,058	66,058
利益剰余金	3,328,332	3,497,792
自己株式	△144	△144
株主資本合計	3,561,455	3,730,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,895	4,199
その他の包括利益累計額合計	2,895	4,199
純資産合計	3,564,350	3,735,114
負債純資産合計	12,391,138	13,423,658

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
売上高	3,566,162	3,341,879
売上原価	2,513,638	2,340,639
売上総利益	1,052,524	1,001,240
販売費及び一般管理費		
役員報酬	90,930	100,191
給料及び手当	129,275	120,543
賞与	4,371	2,546
賞与引当金繰入額	4,530	3,738
法定福利費	25,469	25,187
地代家賃	52,305	49,814
租税公課	101,750	121,689
通信費	12,862	10,517
業務委託費	31,858	35,697
貸倒引当金繰入額	210	152
その他	77,239	79,865
販売費及び一般管理費合計	530,803	549,941
営業利益	521,721	451,298
営業外収益		
受取利息	39	16
受取配当金	263	361
未払配当金除斥益	140	145
助成金収入	—	271
その他	75	863
営業外収益合計	519	1,657
営業外費用		
支払利息	66,479	70,588
その他	113	252
営業外費用合計	66,592	70,840
経常利益	455,647	382,114
特別損失		
固定資産除却損	202	—
特別損失合計	202	—
税金等調整前当期純利益	455,444	382,114
法人税、住民税及び事業税	169,823	135,088
法人税等調整額	△16,910	△11,495
法人税等合計	152,913	123,592
当期純利益	302,531	258,522
親会社株主に帰属する当期純利益	302,531	258,522



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
当期純利益	302,531	258,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	1,303
その他の包括利益合計	189	1,303
包括利益	302,720	259,826
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	302,720	259,826

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	167,208	66,058	3,114,865	△117	3,348,014
当期変動額					
剰余金の配当			△89,063		△89,063
親会社株主に帰属する当期純利益			302,531		302,531
自己株式の取得				△27	△27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	213,467	△27	213,440
当期末残高	167,208	66,058	3,328,332	△144	3,561,455

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,706	2,706	3,350,721
当期変動額			
剰余金の配当			△89,063
親会社株主に帰属する当期純利益			302,531
自己株式の取得			△27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	189	189	189
当期変動額合計	189	189	213,629
当期末残高	2,895	2,895	3,564,350

当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	167,208	66,058	3,328,332	△144	3,561,455
当期変動額					
剰余金の配当			△89,062		△89,062
親会社株主に帰属する当期純利益			258,522		258,522
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	169,459	—	169,459
当期末残高	167,208	66,058	3,497,792	△144	3,730,914

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,895	2,895	3,564,350
当期変動額			
剰余金の配当			△89,062
親会社株主に帰属する当期純利益			258,522
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	1,303	1,303	1,303
当期変動額合計	1,303	1,303	170,763
当期末残高	4,199	4,199	3,735,114

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	455,444	382,114
減価償却費	164,422	185,550
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△299	△195
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△170	△792
受取利息及び受取配当金	△227	△378
支払利息	66,479	70,588
有形固定資産除売却損益 (△は益)	202	—
営業債権の増減額 (△は増加)	31,319	8,624
たな卸資産の増減額 (△は増加)	357,297	△27,981
営業債務の増減額 (△は減少)	△21,548	△5,727
前受金の増減額 (△は減少)	△50,726	18,789
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,826	△4,508
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△4,733	△9,646
その他	17,473	2,853
小計	1,033,760	619,290
利息及び配当金の受取額	39	82
利息の支払額	△66,618	△70,732
法人税等の支払額	△171,682	△173,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	795,499	375,171
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,381,962	△1,312,750
無形固定資産の取得による支出	△10,050	△2,020
敷金及び保証金の回収による収入	4,300	1,511
その他	△38,223	△95,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,425,935	△1,408,468
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	328,280	323,000
長期借入れによる収入	1,075,120	1,341,200
長期借入金の返済による支出	△874,573	△768,999
自己株式の取得による支出	△27	—
配当金の支払額	△88,962	△88,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	439,837	806,275
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△190,599	△227,022
現金及び現金同等物の期首残高	1,445,227	1,254,628
現金及び現金同等物の期末残高	1,254,628	1,027,605

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

運営管理事業	・・・	賃貸マンションの自社所有、賃貸マンションの一括借上げ (サブリース)、居住用賃貸物件と駐車場の賃料収受・管理 業務及び仲介業務、大型リフォーム
開発販売事業	・・・	賃貸マンションの企画、開発、販売

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	運営管理事業	開発販売事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,894,403	671,759	3,566,162	—	3,566,162
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,636	—	3,636	△3,636	—
計	2,898,040	671,759	3,569,799	△3,636	3,566,162
セグメント利益	555,971	108,041	664,013	△142,292	521,721
セグメント資産	6,918,574	4,156,991	11,075,565	1,315,573	12,391,138
その他の項目					
減価償却費	159,041	905	159,947	4,474	164,422
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,429,104	—	1,429,104	21,950	1,451,054

(注) 1. 「調整額」は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△142,292千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に親会社本社の管理部門に係る費用です。

(2)セグメント資産の調整額1,315,573千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産であります。

(3)減価償却費の調整額4,474千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の減価償却費であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額21,950千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の購入であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用の償却額及び増加額が含まれます。

当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	運営管理事業	開発販売事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,849,981	491,898	3,341,879	—	3,341,879
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,849,981	491,898	3,341,879	—	3,341,879
セグメント利益	536,585	69,800	606,385	△155,087	451,298
セグメント資産	8,159,276	4,126,631	12,285,907	1,137,750	13,423,658
その他の項目					
減価償却費	181,414	480	181,895	3,655	185,550
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,381,333	—	1,381,333	27,020	1,408,353

(注) 1. 「調整額」は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△155,087千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に親会社本社の管理部門に係る費用です。

(2)セグメント資産の調整額1,137,750千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産であります。

(3)減価償却費の調整額3,655千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の減価償却費であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額27,020千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の購入であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用の償却額及び増加額が含まれます。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)		当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)	
1株当たり純資産額	1,120円58銭	1株当たり純資産額	1,174円26銭
1株当たり当期純利益金額	95円11銭	1株当たり当期純利益金額	81円28銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	302,531	258,522
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	302,531	258,522
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,180,850	3,180,814

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。